

平成 26 年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 10 月 10 日

上場会社名 株式会社柿安本店 上場取引所 東
 コード番号 2294 URL <http://www.kakiyasuhonten.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 赤塚 義弘 (TEL) 0594 (23) 5500
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 10 月 10 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 2 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 25 年 3 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 2 月期第 2 四半期	20,281	△2.0	1,069	△8.9	1,081	△8.7	563	△6.9
25 年 2 月期第 2 四半期	20,697	2.7	1,174	12.6	1,185	13.2	605	78.7

(注) 包括利益 26 年 2 月期第 2 四半期 569 百万円 (△4.9%) 25 年 2 月期第 2 四半期 598 百万円 (85.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 2 月期第 2 四半期	45.28	ー
25 年 2 月期第 2 四半期	48.66	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 2 月期第 2 四半期	18,825	13,267	70.5
25 年 2 月期	18,047	13,133	72.8

(参考) 自己資本 26 年 2 月期第 2 四半期 13,267 百万円 25 年 2 月期 13,133 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 2 月期	ー	0.00	ー	35.00	35.00
26 年 2 月期	ー	0.00			
26 年 2 月期 (予想)			ー	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 26 年 2 月期の連結業績予想 (平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	42,499	△0.4	2,619	0.1	2,635	△1.6	1,414	8.0	113.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

2. 通期業績予想は、添付資料 P.4 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) , 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	12,446,700株	25年2月期	12,446,700株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	470株	25年2月期	361株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	12,446,296株	25年2月期2Q	12,446,362株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感から円高是正や株価上昇など景況感は徐々に明るさを増してまいりました。しかしながら一方で、電気料金の値上げや海外経済の減速が懸念されるなど先行きは不透明な状況で推移いたしました。

食関連業界におきましても、消費マインドに改善の兆しは見られるものの、雇用・所得環境の改善が見られない中、物価上昇も予想されるなど個人消費の改善には至らず、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、「牛めし」「おはぎ」「牛小間切れ」をはじめとする主力定番商品の刷新やオリジナルブランド「プレミアムあぐ〜」の育成など、商品力向上とともに事業別販促を強化してまいりました。

出退店につきましては、百貨店への精肉・惣菜店舗の出店を着実に進めるとともに大型ショッピングセンター中心に15店の和菓子店舗「口福堂」を出店いたしました。また、3店の改装、4店の閉鎖を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,281,829千円（前年同期比2.0%減）、営業利益は1,069,994千円（同8.9%減）、経常利益は1,081,908千円（同8.7%減）、四半期純利益は563,612千円（同6.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

主力定番商品の黒毛和牛小間切れをよりおいしく魅力ある『黒毛和牛こだわり小間切れ』に全面刷新するとともに『松阪牛小間切れ』や健康志向に合わせた『赤身さっぱり小間切れ』の新商品投入により品揃え強化を図りました。

また、「夏得スタミナ祭」企画でのバーベキューセット・焼肉セットや「夏は賢く時短クッキング！」企画でのハンバーグ・味付商品などにより集客の強化を図りました。

以上の結果、当事業の売上高は6,963,529千円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は537,205千円（同11.9%増）となりました。

(b) 惣菜事業

「大海老レモンマヨ」や「初夏の彩り弁当」をはじめ、レモンがテーマの夏商品、復刻版メニューの投入による商品の刷新や、期間限定商品「牛めし夏味（山葵）」、メンチカツ・ヒレカツなどの揚物企画により常に店頭を変化させてまいりました。

また、横浜エリアへのダイニング部門の初進出となるそごう横浜ダイニングの出店を含め惣菜店舗計4店の出店と2店の改装を行いました。

この結果、当事業の売上高は6,076,266千円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は550,983千円（同31.3%減）となりました。

(c) 食品事業

松阪牛の精肉ギフトやハンバーグギフトの新商品をお中元ギフト商戦に投入するとともに、少量食べ切りサイズの詰め合わせによる父の日プレゼント、帰省土産などパーソナルギフト分野の強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は1,596,874千円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は133,786千円（同3.0%増）となりました。

(d) 和菓子事業

夏の涼菓（水まんじゅう、水ようかん、冷やしカップデザート等）の品揃え強化とともに主力定番商品「名物おはぎ」の使用もち米を北海道産はくちょうもちブレンドに刷新し、さらにおいしく仕上げるなど、商品力の向上に努めました。

また、盆明けとともに新商品「スイートマロンどら焼」をはじめ、栗がテーマの秋商品への入替を進め、季節の先取りを行ないました。

以上の結果、当事業の売上高は2,440,831千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益は151,455千円（同27.4%増）となりました。

(e) レストラン事業

「ローストビーフと彩り野菜のミルフィューユ仕立て」や「ブリッと大海老マヨ（クリーミープレミアム）」などディナータイム限定の日替り特別メニューや揚げたて天ぷらのテーブルサービス企画をビュッフェ部門に投入するとともに、グリル部門への夏商品「炭火焼ハンバーグ&スペアリブ（夏旨大根のおろしポン酢かけ）やステーキメニューの導入による品揃え強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は3,191,433千円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益は279,652千円（同21.1%増）となりました。

(f) その他

柿安グループの店舗を設けていない百貨店・量販店等において、柿安総合催事を実施いたしました。

この結果、当事業の売上高は12,894千円（前年同期比59.5%減）、セグメント損失は586千円（前年同期は111千円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ778,178千円増加し、18,825,613千円となりました。主な要因は、現金及び預金299,173千円の減少がありましたが、売掛金941,217千円及び新規出店に伴う有形固定資産116,971千円の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ644,571千円増加し、5,558,243千円となりました。主な要因は、借入金の返済に伴う長期借入金85,000千円の減少がありましたが、買掛金241,106千円及び未払費用219,863千円の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ133,606千円増加し、13,267,369千円となりました。主な要因は、利益剰余金127,990千円の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ299,173千円減少し、6,275,196千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、584,596千円(前年同四半期は、582,325千円の増加)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費等であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、336,053千円(前年同四半期は、477,996千円の減少)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、547,716千円(前年同四半期は、632,660千円の減少)となりました。

これは、主に配当金の支払及び長期借入金の返済による支出等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、消費動向は一進一退を繰り返し、また競合は激しさを増す厳しい経営環境が続くものと予想されます。

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績および最近の動向等を踏まえ、平成25年4月11日に発表いたしました平成26年2月期の通期業績予想を以下の通り修正いたします。

[連結]

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	43,679	2,840	2,845	1,593	128円03銭
今回予想値 (B)	42,499	2,619	2,635	1,414	113円64銭
増減額 (B-A)	△1,180	△220	△209	△179	—
増減率 (%)	△2.7	△7.8	△7.4	△11.2	—
(ご参考)前期実績	42,684	2,617	2,677	1,309	105円18銭

[個別]

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	43,517	2,740	2,764	1,655	133円01銭
今回予想値 (B)	42,321	2,523	2,552	1,480	118円95銭
増減額 (B-A)	△1,196	△217	△212	△175	—
増減率 (%)	△2.7	△7.9	△7.7	△10.6	—
(ご参考)前期実績	40,017	2,266	2,391	1,162	93円42銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,174,370	6,875,196
受取手形及び売掛金	2,400,573	3,341,791
商品及び製品	208,484	223,196
仕掛品	122,794	148,038
原材料及び貯蔵品	181,365	194,040
繰延税金資産	204,392	212,808
その他	40,788	98,148
貸倒引当金	△219	△307
流動資産合計	10,332,550	11,092,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,203,231	3,265,327
土地	2,282,565	2,282,565
その他(純額)	620,210	675,086
有形固定資産合計	6,106,007	6,222,979
無形固定資産		
その他	118,024	95,467
無形固定資産合計	118,024	95,467
投資その他の資産		
投資有価証券	188,194	198,495
繰延税金資産	274,718	224,462
差入保証金	838,271	810,960
その他	189,668	180,333
投資その他の資産合計	1,490,852	1,414,252
固定資産合計	7,714,884	7,732,699
資産合計	18,047,434	18,825,613
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,151,762	1,392,869
未払金	395,259	467,601
未払法人税等	428,745	469,880
未払費用	877,336	1,097,199
賞与引当金	361,018	369,575
役員賞与引当金	37,950	18,975
その他	382,506	570,708
流動負債合計	3,634,578	4,386,810
固定負債		
長期借入金	702,500	617,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
退職給付引当金	13,048	15,023
資産除去債務	465,736	437,504
その他	97,807	101,405
固定負債合計	1,279,093	1,171,433
負債合計	4,913,672	5,558,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269,238	1,269,238
資本剰余金	1,074,763	1,074,763
利益剰余金	10,793,104	10,921,094
自己株式	△401	△549
株主資本合計	13,136,704	13,264,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,941	2,822
その他の包括利益累計額合計	△2,941	2,822
純資産合計	13,133,762	13,267,369
負債純資産合計	18,047,434	18,825,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	20,697,551	20,281,829
売上原価	11,153,655	10,707,337
売上総利益	9,543,896	9,574,492
販売費及び一般管理費	8,369,272	8,504,497
営業利益	1,174,624	1,069,994
営業外収益		
受取利息	2,033	1,485
受取配当金	1,610	1,655
協賛金収入	2,065	1,227
保険解約返戻金	—	5,805
その他	17,372	10,983
営業外収益合計	23,082	21,157
営業外費用		
支払利息	7,975	6,217
その他	4,266	3,026
営業外費用合計	12,242	9,243
経常利益	1,185,464	1,081,908
特別損失		
固定資産除売却損	17,977	4,389
減損損失	42,101	28,229
その他	270	—
特別損失合計	60,348	32,619
税金等調整前四半期純利益	1,125,115	1,049,289
法人税、住民税及び事業税	450,540	446,978
法人税等調整額	68,894	38,698
法人税等合計	519,434	485,676
少数株主損益調整前四半期純利益	605,680	563,612
四半期純利益	605,680	563,612

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	605,680	563,612
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△7,076	5,764
その他の包括利益合計	△7,076	5,764
四半期包括利益	598,604	569,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	598,604	569,376
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,125,115	1,049,289
減価償却費	311,023	299,314
減損損失	42,101	28,229
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,176	8,556
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,500	△18,975
退職給付引当金の増減額(△は減少)	604	1,974
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△95,806	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,541	88
受取利息及び受取配当金	△3,644	△3,140
支払利息	7,975	6,217
有形固定資産除却損	16,848	3,573
有形固定資産売却損益(△は益)	1,128	816
売上債権の増減額(△は増加)	△611,378	△939,940
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,050	△52,631
仕入債務の増減額(△は減少)	218,982	241,106
未払金の増減額(△は減少)	120,020	2,242
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,145	60,170
その他	202,381	269,820
小計	1,229,375	956,711
利息及び配当金の受取額	3,623	3,212
利息の支払額	△7,672	△6,212
法人税等の支払額	△643,000	△369,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	582,325	584,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600,000	△600,000
定期預金の払戻による収入	600,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△424,974	△316,601
有形固定資産の売却による収入	840	190
投資有価証券の取得による支出	△1,420	△1,394
長期貸付金の回収による収入	1,380	—
差入保証金の差入による支出	△21,006	△28,290
差入保証金の回収による収入	2,483	9,982
その他	△35,297	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477,996	△336,053

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△195,000	△110,000
自己株式の取得による支出	△28	△148
配当金の支払額	△435,622	△435,621
その他	△2,008	△1,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	△632,660	△547,716
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△528,331	△299,173
現金及び現金同等物の期首残高	5,810,305	6,574,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,281,973	6,275,196

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子事業	レストラン事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,949,949	6,290,596	1,690,385	2,138,021	3,596,728	20,665,681	31,870	20,697,551	—	20,697,551
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	657,337	10,640	163,091	61,668	11,812	904,550	—	904,550	△904,550	—
計	7,607,287	6,301,237	1,853,476	2,199,689	3,608,541	21,570,232	31,870	21,602,102	△904,550	20,697,551
セグメント利益	480,026	801,801	129,856	118,879	230,928	1,761,492	111	1,761,604	△586,980	1,174,624

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。
 2. セグメント利益の調整額△586,980千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△607,329千円及びその他調整額20,349千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「惣菜事業」、「和菓子事業」及び「レストラン事業」セグメントにおいて、店舗設備の減損損失をそれぞれ5,003千円、12,024千円、25,074千円計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において42,101千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年3月1日至平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,963,529	6,076,266	1,596,874	2,440,831	3,191,433	20,268,935	12,894	20,281,829	—	20,281,829
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	740,733	8,941	181,191	78,065	13,117	1,022,049	—	1,022,049	△1,022,049	—
計	7,704,263	6,085,208	1,778,065	2,518,896	3,204,550	21,290,984	12,894	21,303,878	△1,022,049	20,281,829
セグメント利益 又は損失(△)	537,205	550,983	133,786	151,455	279,652	1,653,083	△586	1,652,497	△582,502	1,069,994

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△582,502千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△601,090千円及びその他調整額18,588千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「惣菜事業」セグメント及び「全社資産」において、店舗設備及び東京本部施設移設統合に伴う減損損失をそれぞれ5,495千円、22,733千円計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において28,229千円であります。